

## 特集 表彰学生プロジェクト

～第7回（2020年）理学部同窓会賞 受賞者にインタビュー～

物理科 松本那由他さん

WEB（Zoom）インタビューにて

2020年7月4日

インタビューアー 真船貴代子、神山和士

—今の状況を教えてください。

私は、大学を卒業してから就職しました。現在は、埼玉県の外資系高圧電源装置メーカーの在庫管理の仕事をしています。

—具体的にもう少し詳しく仕事の内容を教えてください。

現在勤務しているオフィスは、主に装置の修理を担当しているところで、エンジニアさんが使うパーツ・部品などを倉庫から出し入れして渡したり、出荷と入荷の数を管理する仕事をしています。海外支店への部品の発注や検品作業もしています。



—コロナ禍での自粛モードでしたが、入社されてからのご苦労も聞かせて下さい。

3月の最後の週から仕事を始めて、会社の方から新入社員は4月1日から自宅待機と話が出て、そこから6月1日まで自宅待機で仕事は一切出来ない状態でした。

—6月1日から会社に行かれるようになったのですね。

はい、6月1日から今現在までいつも通りです。本来朝9時始業18時退勤なのですが、通勤ピークをずらすという意味で10時から出社17時退勤で対応をしています。

—会社とご自宅は近いのですか、遠いのですか。

電車で1時間で行き来出来るぐらいです。大学のころより近いです。

—卒業時のご研究の話を分かり易く説明して頂けますか。

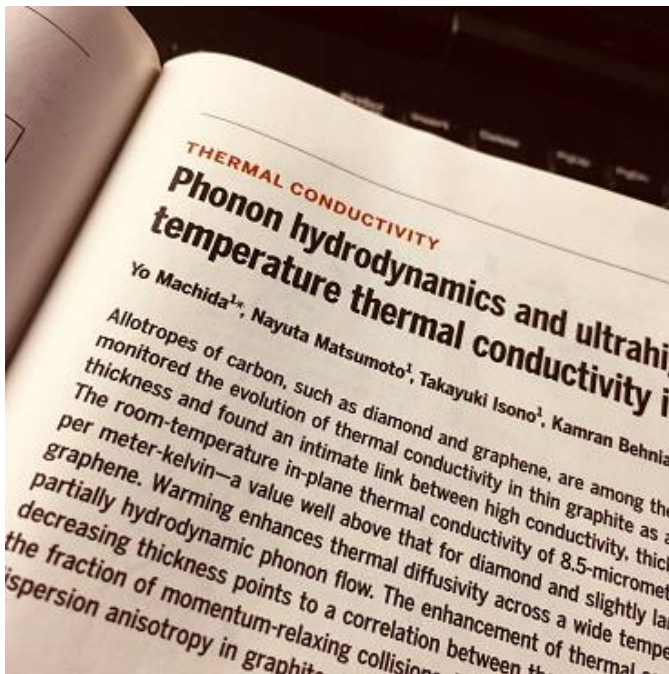
僕は卒業研究で、グラファイトの熱伝導率の研究をしていました。

グラファイトというのは、黒鉛、いわゆる鉛筆の芯とかに使われている材料です。品質の良いグラファイトのことを HOPG（高配向性熱分解グラファイト）と言います。



ますが、その熱伝導率が熱を流す方法に対して試料の厚さの変化でどのように変わるかを研究していました。

当初はフォノンの流体性を確かめるのが目的でしたが、偶然厚さ依存性も見られました。それも当初予測していた厚さ依存性とは真逆の結果が得られたので驚きました。



—成果が挙がりました？

成果は良い結果も出て、町田先生と共同で書いた論文がサイエンスに掲載されました。

—凄い！！

僕も驚きました。

—サイエンスに載ったのですか！

第2著者として名前が載っています。

—セカンドオーサーですか！！

ええ、セカンドオーサーです、驚きました。

—凄い！凄い！それは、一生の記念ですよ。

そうですね。一生言えますね。

他の研究室の先生方も喜んで、驚いてくれています。

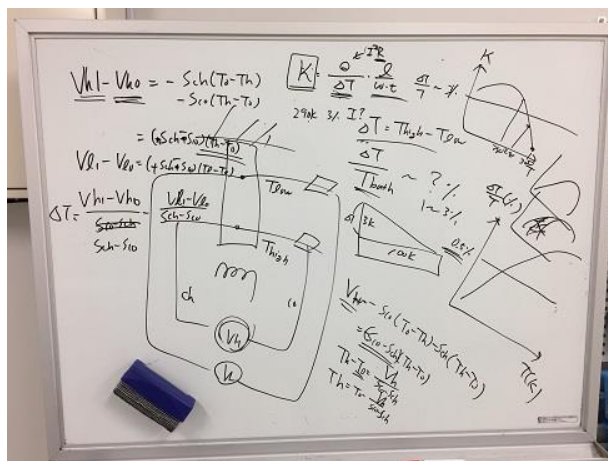
—それは素晴らしい！やった甲斐がありましたね。

研究室には夜遅くまで居ましたか。

普段は、ちゃんと6時とか決まった時間に帰れるのですが、たまにその日のうちに測定を仕掛けたい場があるんですね。その時は帰る前に資料の装置のセットを終わらせないとですから、ちょっと帰りが遅くなったりしました。

—その時のやりがいとご苦労も教えて頂けますか。

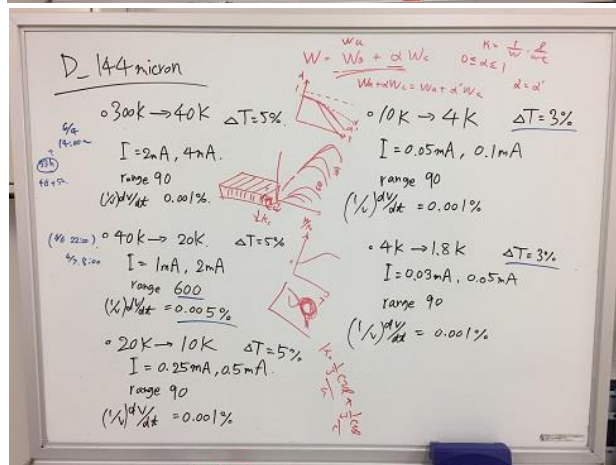
凄く扱う資料が小さくて薄いんですね。それこそ数百 $\mu\text{m}$ という厚さから、層になっている物質をどんどん薄くして行くんですよ。ですから、ちょっと薄くするのを失敗すると試料が折れてしまって破損してしまう。そうするとその試料は測定を続けられなくなってしまいます。ですから、細かい作業が一番苦労した点です。



—やりがいとしては？

ちょっと抽象的になりますが、実験をやっていて楽しかったですね、毎日。

夜に設定をして朝来てみて、プロットされた点を見て綺麗に並んでいるとやっぱり嬉しかったです。もちろんセッティングが悪いとおかしな値が取れて、プロットはバラバラです。



—大学生活についても伺っているのですが、部活とかアルバイトとか？

部活はやっていません。何かをやりたいなと思っていたのですが、迷っているうちになんとなくチャンスがなくなってしまって卒業してしまいました。

アルバイトは結構頑張っていました。パーティーとか会社の会議の会場設営をやっていました。

それ以外で苦労したことは、自分は単位の取得が苦手だったものですから、順調に学年が上がれた訳ではないんです。そういう点でも苦労しました。

—特に何を苦労しましたか？

教科は量子力学です。量子力学は面白いんですけど苦手でしたね。難しかったです。あと物理学演習と電磁気学。

—今、量子力学はどなたが教えているのですか。

田崎先生です。

—田崎先生は面白いでしょう。

田崎先生は面白いです。でも入学してからずっと田崎先生だったから、贅沢。



贅沢に慣れてしまって、それが当たり前と感じてしまうのは非常に勿体ないことだと今になって思います。

一贅沢！

有難みは他人から話を聞かないと分からないですよ。他の大学の物理学科の友達にちょっと話をすると、田崎先生の話を知っているのって驚かれて、私もそんなにみんなが知っていて有名なんだって驚きましたね。

一田崎先生は有名です。

一好きな食べ物とか好きなことを伺っています。

嫌いなものがあまりないんです。だから何が好きって言われると迷ってしまう。特にキノコ入りオムレツとかが今気分です。

研究室では昼食にサンドイッチなどよく作っていました。

一学生の時学食とかは行かれていましたか？

毎日じゃないですけど、たまに通っていました。学食は理学部から遠いので。

カレーライスとか、安定して美味しい。それと2階に行ったところのきつねうどん、1階がカレーで2階が麺類です。

一研究室で飲み会とかありましたか。

新入生歓迎会、あと忘年会をやりました。本当なら、卒研発表の打ち上げや卒業パーティもしたかったですね。

一お酒は強いですか。

普通です。弱くはないです。

特に好きなお酒は、ビールですかね。



—とりあえずビール派ですね。

そうですね。

—夏休みとかは？

夏休みは結構、研究室に居ました。

町田研は基本的に土日は休みですが、夏休みの月曜から金曜日は大体行っていました。居心地がいいんです（笑）

院生2人、4年生7人で和気あいあいでした。僕たちが2期生になります。



—町田研は居心地が良かったのですね。

4年生の研究生活はとても自分の為になったと思います。研究内容だけでなく、同期や先輩と一緒にした日常生活は、凄く自分の今の糧になっている。

研究室でパンを焼いたり、変な味のお菓子が置いてあったり…

あの時もっとみんなと写真を撮っておけばよかったなど、この前写真を探している時に思いました。今年の町田研の子たちにはぜひ写真を撮ってほしいです。

コロナ騒ぎが落ち着いたら町田研に行けたらいいなと今思っています。新しく入った4年生の子たちに一度も会えていなくて、誰が私の実験を引き継いでくれたのか凄く気になりますね。続けてやる目標が凄くいっぱいある研究なので、是非それをやって頂きたいなと思います。

一人と繋がるのは大事だから、研究は一人かも知れないけど研究室の雰囲気良かったりだとか、同期と仲良かったりとか凄く大事なことですね。実験が無くても町田研に行きたいと思われていたところが、とても羨ましいです。

そうですね。町田研は居心地が良いので、結構みんな何をするわけでもなく集まる研究室でした。

—私も物理科の時の研究室とか同級生とか今でも仲が良いのですが、一生の宝物になりますよ。

良いですね。町田研は人生ずっと私の宝物です。

—将来は、どんな風になりたいのですか。

とにかく今やっている仕事を続けて、今は在庫管理をやっていますが、出来たらエンジニアとしても仕事を教われたら良いなと思っています。

—とても良い研究室生活を送られたんだなあと思います。良いお話が聞けました。

有難うございます。

—やってきたことの成果が出ていますのでこれからも頑張ってください。期待しています。どうもありがとうございました。